

# 東海第二発電所他原子力施設見学会を開催しました

参加者からのアンケート結果をお知らせします

市エネルギー対策課では、市内に建設計画が進められている『使用済燃料中間貯蔵施設』や原子力発電施設について、市民の皆様により詳しく知っていただくために、平成21年度青森県広報・安全等対策交付金を活用した事業として、『東海第二発電所他原子力施設見学会』を実施いたしました。

今年度は20名の方にご参加いただきました。また、これまでむつ市から茨城県東海村へ貸切バスで長い時間をかけて見学に出かけていましたが、今回は鉄道を主に利用し、移動時間の短縮と参加者の疲労軽減を図ると共に、短縮された時間を活用し、理解に役立つ施設も見学しました。

## ◎ 見学会実施日と行程

11月21日（土）	大畑庁舎—本庁舎—野辺地駅～鉄道～東京駅—『電気の史料館』—東京都内泊
11月22日（日）	宿泊先—『東海第二発電所』—『アトムワールド』—茨城県水戸市内泊
11月23日（祝）	宿泊先—水戸駅～鉄道～野辺地駅—本庁舎—大畑庁舎

『東海第二発電所』（茨城県東海村）には、市内に建設予定の『使用済燃料中間貯蔵施設』を小型化したイメージの「乾式キャスク貯蔵施設」があり、施設内に保管されている乾式キャスクをご自身の目でご確認いただきました。

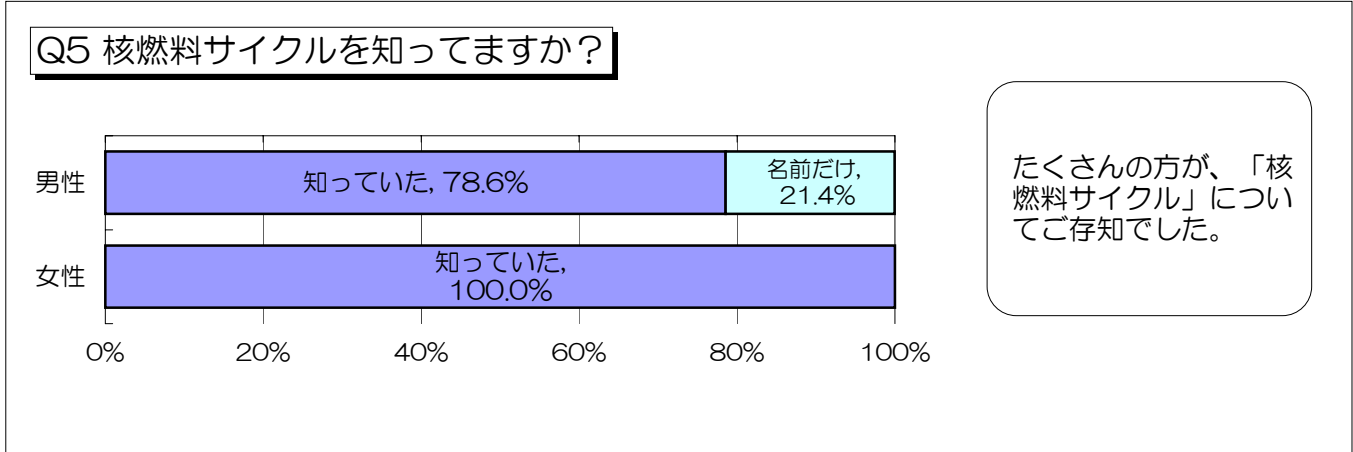
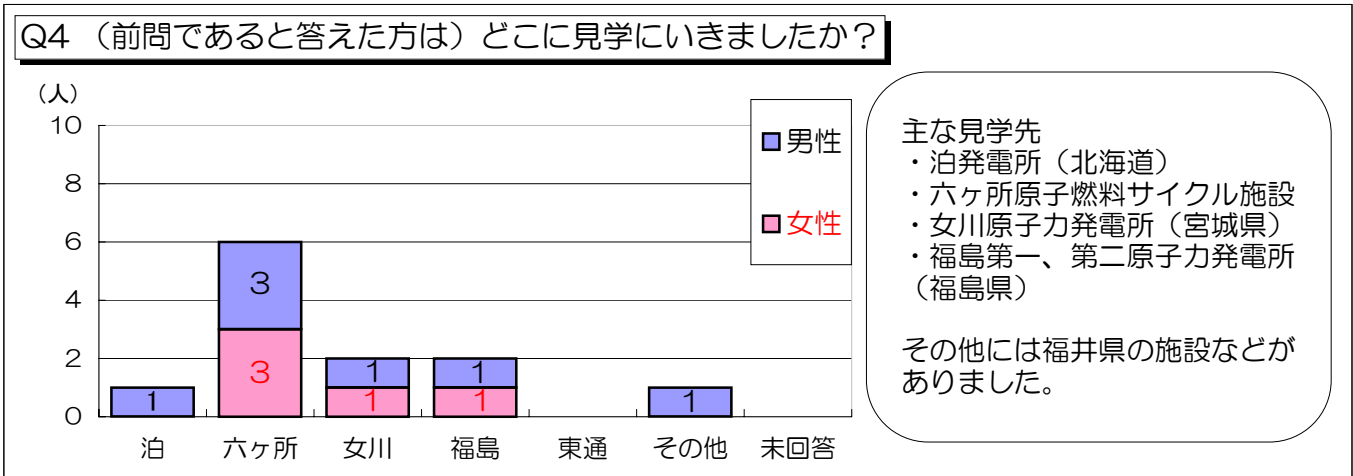
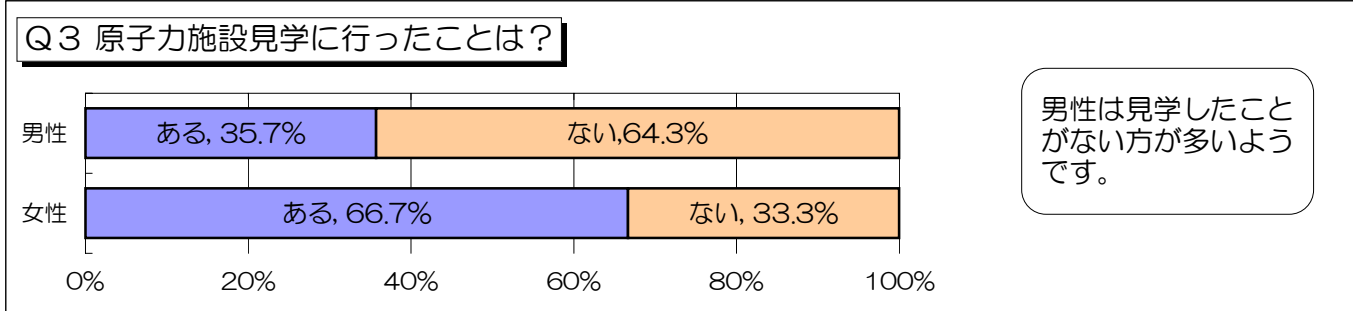
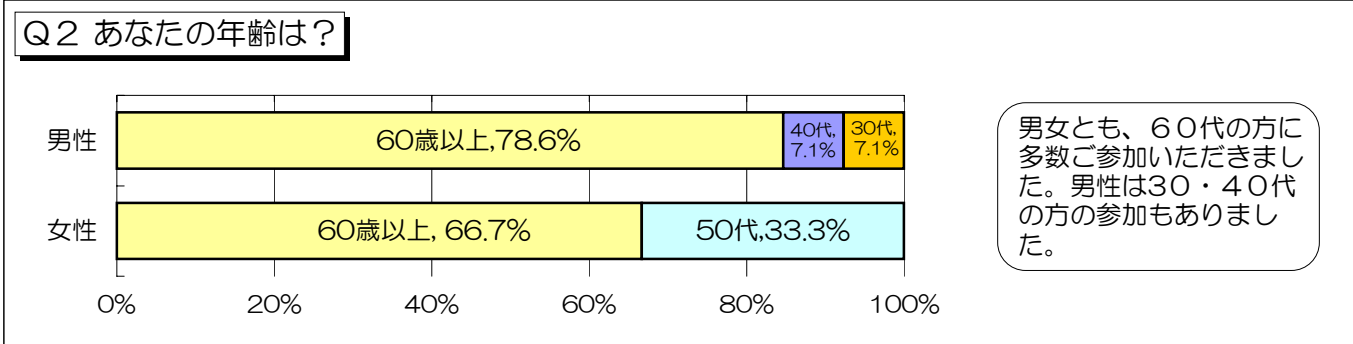
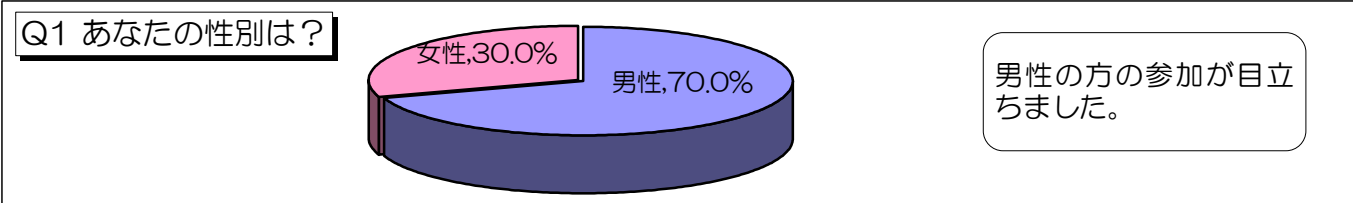
（独）日本原子力研究開発機構東海展示館（茨城県東海村）は『アトムワールド』と称された原子力の展示館で、核燃料サイクルについて展示物とわかりやすい案内により館内を見学しました。

東京電力㈱の運営する『電気の史料館』（神奈川県横浜市鶴見区）は、黎明期から現在までの電力事業について実際に使用されていた貴重な発電機等約700点の展示物を見ながら、発電や送電の技術開発について学びました。

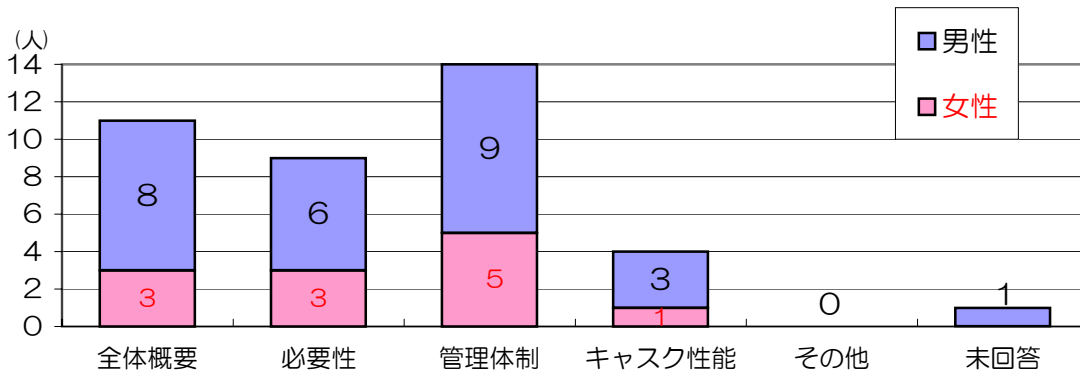
参加された皆様は様々なご感想を持たれたようです。

ここでは、参加者の皆様にご協力いただいたアンケート調査の集計結果と、いただいたご意見について、広く市民の皆様にお知らせいたします。

◆東海第二発電所見学会 アンケート結果（選択式部分）

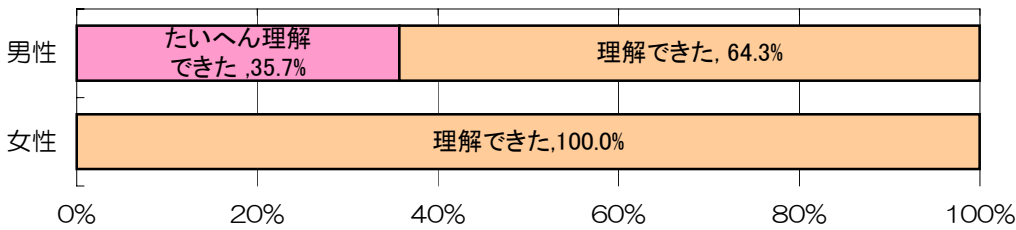


### Q6 中間貯蔵施設について知りたかったことは？



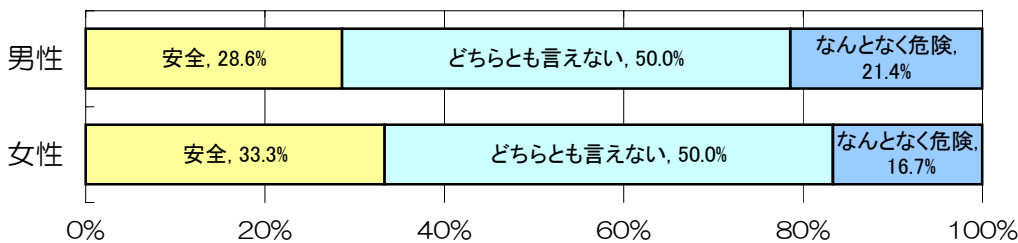
施設の管理体制や全体概要・必要性を知りたかった方が多いようでした。

### Q7 知りたかったことは理解できましたか？



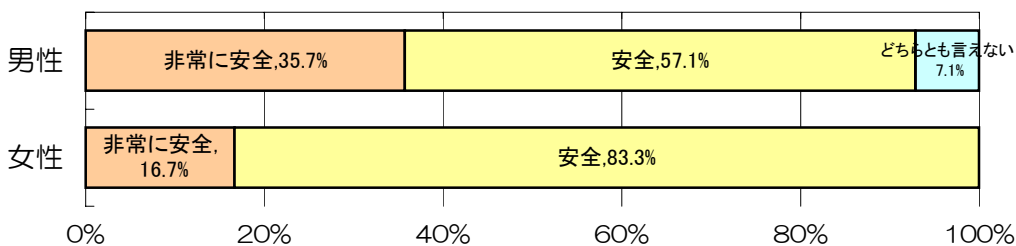
ほとんどの方が知りたいことが理解できたと答えています。

### Q8 キャスクの安全性について見学前は？



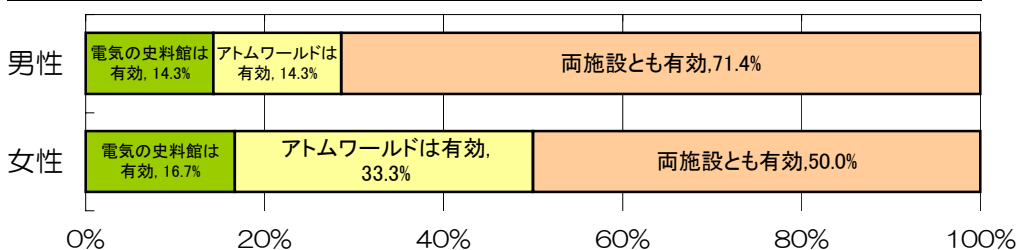
見学前はどちらとも言えないと答えた方が半数でした。

### Q9 見学後のキャスクの安全性については？



実際にキャスクを見学した後は安全と答えた方が増えました。

### Q10 電気の史料館やアトムワールドの見学は理解に有効でしたか？



電気の史料館やアトムワールドの見学は原子力の理解に有効だったと答えています。

## ◆ 東海第二発電所見学会 アンケート結果（記述部分）

### Q11 電気の史料館やアトムワールドの見学について。

- ・ 安全性を理解するためにも有効
- ・ 電気、原子力の必要性が良くわかりました。
- ・ 安全性を理解する為にも展示館は必要だと思う。
- ・ エネルギーの安定的供給に関連する
- ・ 電気はわれわれがなにげなく毎日使用していますが、電気をつくっている大変さをわかったように思います。
- ・ 史料館で現在の電気の内容がわかり、展示館ではこれからの電気が必要と思う。
- ・ 電気の必要性の再確認と安全性の確認
- ・ 日本は資源のない国だから原子力発電は有効であり、またその安全のため会社は全力をあげ細かな点まで取り組んでいるのに対し敬意を表します。
- ・ 電気のこととか、原子力の詳しい内容を聞いて良かった。
- ・ 現物が見れて安心できる。
- ・ 中間貯蔵施設の必要性が理解できる。
- ・ 電気の歴史的発展そして電気の必要性等がよく理解できた。展示館では、原子力発電の仕組み・安全性が理解できた。

### Q12 「使用済燃料中間貯蔵施設」「核燃料サイクル」「原子力発電所」等原子力関連施設の理解を深めるうえで、市に取り組んで欲しいことはどのようなことですか？

- ・ 市民の勉強の場として早期地元にも展示館をつくってほしい。
- ・ できるだけ多くの市民が原子力関連施設に行けるようにする。
- ・ 原子力の必要性、安全性を多くの人に伝えるような宣伝活動に力を入れる。
- ・ 熱を利用してきれいな公園（花・植物）を作ってほしい！！観光バスも寄るような道の駅も要望します。
- ・ 安全性（中間貯蔵は50年となっているが長期にならないよう願います）
- ・ これからも発電所及び研究機関の施設見学はやってほしい。
- ・ これからは若い人にも理解してもらおうように力をいれて取り組んでほしいです。
- ・ 子供達にも電気の必要性又電気の無駄使いなど、知ってほしい。同時に親子で考えられる、あまり難しくない勉強教室等行ってほしい。
- ・ 中間貯蔵施設の必要性の啓蒙
- ・ むつ市の発展は地域性等歴史的な点からも原子力発電との絆を日本一深くしこれという産業のないむつ市発展の柱としたい。そして農業・漁業と関連づけて取り組んで欲しい。
- ・ 予算が厳しい中大変ですが、これから大間原発で予定されている100%プルサーマル発電の理解を深めるためにも現在プルサーマルを試運転中の九州玄海原発等にいけるといい。
- ・ 初めての参加でしたので少し難しいことばかりでしたが、研修を受けているうちに必要性を感じてきました。もう少し若い人たちが参加できるイベントをしていただきたい。休みを利用して頂いたら少しでも若い人たちの参加もできるのではないのでしょうか。
- ・ 「安全」を第一に考えて欲しい。
- ・ 幅広い年齢の人達にわかりやすい言葉で理解してもらえるような方法で考えて欲しいと思います。

- ・ 小学高学年～中・高校生に必要性を教育すべきと思う。
- ・ 施設完成の際は今回視察研修した場所と同様の展示館建設と市民・県民への施設説明の継続的実施を望みます。
- ・ キャスクの安全性は理解できました。貯蔵施設までの道路の整備や安全について考えていただきたい。

Q13 ご感想、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 原子力に対し、理解を深めることができました。
- ・ これから必要となる電気、それを作り出す原子力の必要性がわかりました。
- ・ 原子力に対し大変勉強になりましたのでむつ市にも早くこのような施設を建設してほしいです。
- ・ 今回の研修は大変中身が濃かった。
- ・ 電気の史料館は初めてでもあり、なつかしい道具や学校で習ったエジソン等の名前がなつかしかった。電気が家庭まで届く大変な苦勞が身にしみてわかり大切に使用したいと思います。電気はスイッチを入れれば使える考えを少々改めて、生活したいと思うし、孫等にも話して聞かせるのが仕事とも思います。
- ・ 今後も原発関係の方々のむつ市の行事への参加を積極的にお願います。金銭的な面でなくむつ市の祭りやスポーツの市民の行事に原子力発電の方々の多くの参加を希望します。そして市民と融和することを希望します。
- ・ むつ市で原子力の日を設け市民の原子力発電の発展の土台づくりにしたい。
- ・ 改めて原子力のこと核燃料サイクルのことを、いろいろ勉強し、理解することができました。
- ・ この機会に思ったことは、また別の場所での研修を受けてみたい。研修を無駄にしたくない。
- ・ 下北地域での受け入れなので、子供達にも理解できるように説明していきたい。
- ・ 参加しなかった時は無知なあまり不安なことばかりでした。
- ・ 今までテレビで見たり新聞で見たりしましたが、ピンとこない事が数多くありましたが、今回実際物を見て、話しを聞き、少しですが理解できたと思います。また今の時代電気は一日中必要であり、また大切にしなければならないとあらためて考えさせられました。
- ・ テレビや新聞等で耳にしていたことが実際に自分の目で見て説明を受けて安心しました。報道がウソだとは言いませんが、違いにビックリしました。
- ・ 中間貯蔵施設がなぜ必要なのか実際見聞して理解できました。それと共に安全性においても、安全性の確保が充分であり、エラーがあっても早期に対応する装置が設置されており、幾重もの安全を確認することができました。
- ・ キャスクや施設は安全だと思いますが、テロ等に対する保安はどうなのでしょう？

ご意見ご感想はこの他にも頂きました。大変ありがとうございました





市エネルギー対策課では、今回の参加者アンケートの結果を参考にさせていただき、今後も原子力発電に関する理解を深めていただけるような各種イベントや見学会を企画して参りたいと考えております。

ご意見やご感想などがございましたら、下記のお問い合わせ先まで、ご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

むつ市企画部エネルギー対策課

TEL：22-1111（内線2332）